

安全上の注意

警告

- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。



- 取付工事や清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いをするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。

- 器具に搭載している直流電源装置やLEDモジュールの部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の隙間に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。



- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電源送り容量は合計5Aまでとし、器具間での電源送りによる連結使用可能灯数は、取扱説明書のご使用上の注意にしたがってください。容量オーバーした場合、火災の原因となります。
- 器具の取り付けは、器具の質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実におこなってください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。接続が不完全ですと、感電、火災の原因となります。

注意

- 電源電圧は、AC100V±6V以内で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキ、故障、火災の原因となる場合があります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となる場合があります。
- 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- 床、什器等の清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となる場合があります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となる場合があります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となる場合があります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となる場合があります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となる場合があります。
- 器具を被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となる場合があります。
- 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となる場合があります。

- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となる場合があります。
- 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となる場合があります。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- 電源コードDD2P(別売)のプラグは中央の刃をラインコンセントの真ん中のレールにあわせてまっすぐしっかりと差し込んでください。感電、火災の原因となる場合があります。
- 電源コネクタ収納蓋を開閉するときには、手や電線を挟んだり、傷つけないように注意しておこなってください。故障、感電、火災、ケガの原因となります。
- 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となる場合があります。
- 点灯しているLEDモジュールを長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 誤って落下させた器具は使用しないでください。故障、火災の原因となる場合があります。
- その他、工事上の制約がありますので、器具の取り付けに際しては「電気設備技術基準」に従って施工してください。

ご使用上の注意

- 周囲温度は5℃～35℃の範囲で使用してください。不点灯、チラツキ、故障の原因となる場合があります。
- 点灯および消灯直後にLEDモジュールからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水を濡らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュールの光が入らないよう配慮してください。
- 器具を並列に取り付ける場合は、器具1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、直流電源装置やLEDモジュールの短寿命の原因となる場合があります。
- 器具間の電源送りをする場合は、渡りコードDK2P(別売)を使用し、連結使用可能灯数は10灯以内としてください。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、照明器具に若干のうなり(音)を生じる場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から1m以上離して使用してください。
- LED素子は、経時的に光色、明るさのバラツキが発生する場合があります。ご了承ください。

- 施工方法、使用方法によっては、電波障害が生じることがありますので次の事項を守ってください。
 - ①器具およびその配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
 - ②器具およびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
 - ③器具に接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用しますと機器が正常に動作しない場合があります。
- 被照射物の染料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。
- LED素子にはバラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源を投入しても点灯までに1～2秒かかることがあります。
- 調光器との併用はできません。
- 漏電遮断器の種類によって直流電源装置からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。
- 交換の際は器具ごと交換してください。LEDモジュールやLED素子単体では交換できませんのでご注意ください。
- 点灯直後わずかに音がありますが異常ではありません。

保守・点検

- 照明器具および関連部品(直流電源装置・調光器・モジュール)には耐用年限があります。耐用年限とは、照明器具等が部材の経年劣化等によって不具合が生じる、または不具合が生じる頻度が高くなり交換を要するまでの使用期間をいい、「適正交換時期(8～10年)」と「耐用の限度(15年)」があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(日本照明工業会ガイドA111-2024)

- ※LED光源は光束維持時間を過ぎても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、耐用年限が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

定格

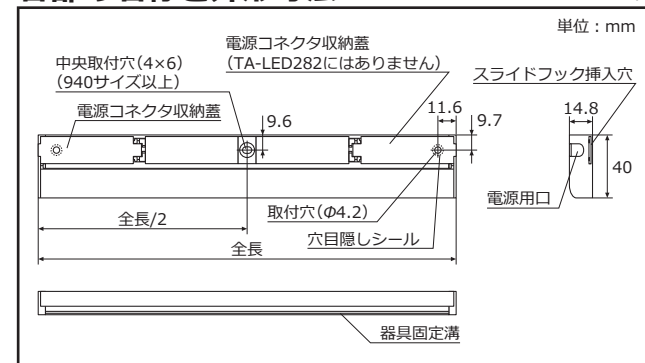
入力電圧 AC100V (仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

形式	全長 (mm)	本体質量 (kg)	入力電流 (A)	入力電力 (W)
TA-LED282L□□	282	0.16	0.075	3.5
TA-LED408□□	408	0.22	0.054	5.3
TA-LED542□□	542	0.28	0.08	6.8
TA-LED641□□	641	0.32	0.09	8.0
TA-LED707□□	707	0.35	0.10	8.7
TA-LED808□□	808	0.39	0.11	9.8
TA-LED841□□	841	0.40	0.11	10.1
TA-LED940□□	940	0.45	0.14	13.1
TA-LED1006□□	1006	0.48	0.14	13.6
TA-LED1074□□	1074	0.51	0.15	14.3
TA-LED1140□□	1140	0.53	0.15	14.9
TA-LED1272□□	1272	0.59	0.17	16.2
TA-LED1439□□	1439	0.65	0.18	17.7
TA-LED1571□□	1571	0.71	0.19	18.9
TA-LED1738□□	1738	0.78	0.21	20.4

- 周波数50/60Hz共用
- 形式の□□は色記号(Dは昼光色、Nは昼白色、Wは白色、WWは温白色、L30、L28は電球色)
- TA-LEDでの電源送りは最大10灯以内としてください。

各部の名称と外形寸法

本 体：アルミ(アルマイト仕上げ)



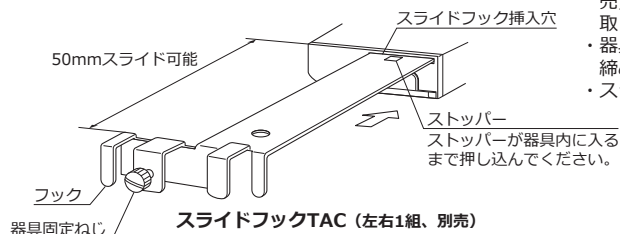
付属品：本体取付ねじ(3.5×16mm サラタッピングねじ 2ヶ)(940サイズ以上は3ヶ)
中央取付穴目隠しシール(18×18mm 1ヶ)(940サイズ以上)

取付方法

1. 本体の取り付け

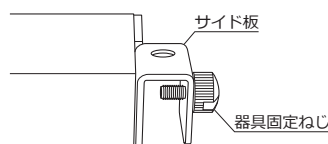
●ブラケットの内々に取り付ける場合

- ・スライドフックTAC(左右1組、別売)を器具の左右のスライドフック挿入穴に差し込み、器具をブラケットに引っ掛け、器具固定ねじを確実に締めてください。



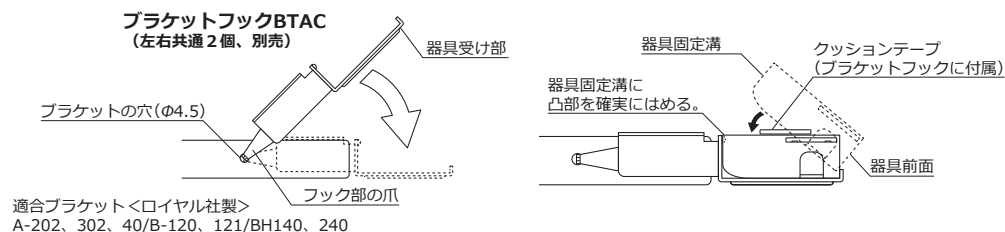
※282サイズ

- ・スライドフックTAC(左右1組、別売)のL(左)側を器具左側のスライドフック挿入穴に差し込んでください。
- ・器具固定ねじをスライドフックTAC(左右1組、別売)のR(右)側から取り外し、器具右側のサイド板に取り付けてください。
- ・器具をブラケットに引っ掛け、器具固定ねじを確実に締めてください。
- ・スライドフックR(右)本体は使用しません。



●ロイヤル製穴付ブラケットに取り付ける場合

- ・スライドフックBTAC(左右共通2個、別売)のフック部の爪をブラケットの穴に差し込み、確実に収まるまでブラケットフックを回してください。
- ・器具を器具受け部に前面から入れ、器具固定溝とブラケットフックの凸部が確実ににはまるまで、器具を回すように器具受け部に入れてください。棚板のズレ防止には、クッションテープ(ブラケットフックに付属)を使用してください。

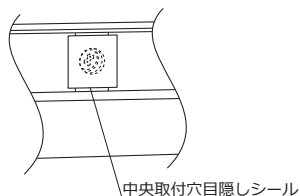


2. [940サイズ以上]

中央取付穴目隠しシールの貼り付け

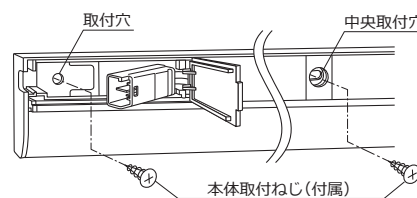
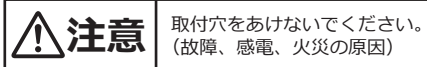
- ・本体取り付け後に指定の位置に貼り付けてください。

中央取付穴目隠しシール貼り付け位置

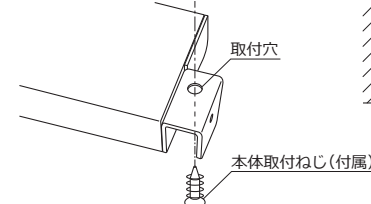


●木棚に取り付ける場合

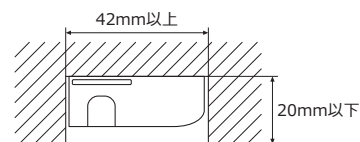
- ・器具上面の穴目隠しシールを剥がしてください。
- ・電源コネクタ収納蓋を開け、取付穴を使用して付属のねじで確実に取り付けてください。
- ・中央取付穴を使用して付属のねじで確実に取り付けてください。(940サイズ以上)



- ※282サイズの右側は、サイド板の取付穴を使用して付属のねじで確実に取り付けてください。



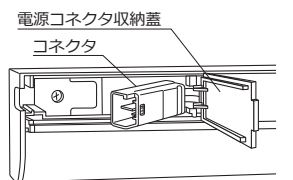
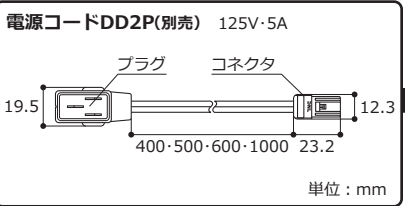
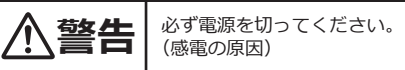
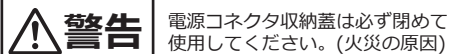
埋め込み最小施工寸法



3. 電源コードと渡りコードの接続

3-1. 電源コードの接続

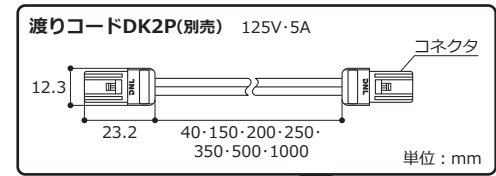
- ・左右どちらかの電源コネクタ収納蓋を開け、コネクタに電源コードDD2P(別売)のコネクタを接続してください。
- ・サイド板の電源用口から電源コードDD2P(別売)を引き出し、電源コネクタ収納蓋を閉めてください。
- ・プラグをラインコンセントに差し込んでください。



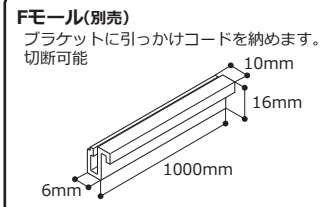
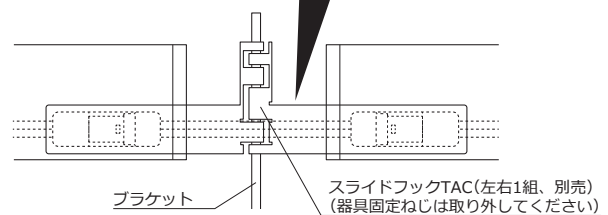
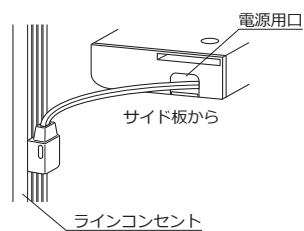
注意】 どちらからでも給電できますが、絶対に両方から給電しないください。故障、感電、火災の原因となります。

3-2. 渡りコードの接続

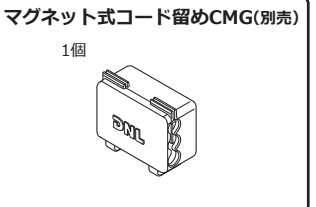
- ・器具間の電源送りをする場合は、渡りコードDK2P(別売)を使用し、連結使用可能灯数は10灯以内としてください。



電源コードの出し方



必要に応じてFモール(別売)、マグネット式コード留めCMG(別売)を用いてコードを配線してください。



4. 電源の供給

全ての作業が完了したら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。